



子どものほめ方、最重要ポイント

先日、本を読んでいたところ「これは家庭教育で大切だ。鴛野小の保護者の方々にもぜひ知ってほしい！」という内容がありましたので、今回は予定を変更して（といっても大した予定はありませんが…）「家庭教育インフォメーション②」を「鴛野小通信」の全面を使ってお送りしたいと思います。題して「子どものほめ方、最重要ポイント」です。

子どもは、ほめて育てる方が良いのは確かなのですが、ただ単にほめればよいということではありません。ほめ方によっては逆効果になることもあるのです。そして、意外と正しいほめ方は知られていないのです。本号では子どもの正しいほめ方を紹介します。ぜひ、使ってみてください。（本号の内容は、どれも大規模な実験で明らかになったもので、しっかりとしたエビデンスがあります。）

家庭教育インフォメーション②

問題

タロウくんが算数のテストで100点をとって帰りました。タロウくんはとてもうれしそうです。こんなとき、何と声をかければよいのでしょうか？

- A やっぱりタロウは頭がいいのね。算数の才能あるんだよなあ。
- B テストに向けて3日間、2時間以上も勉強してたもんね。よくがんばってたよ。

正解は **B** です。

テストに向けて3日間、毎日2時間以上も勉強してたもんね。よくがんばってたよ。

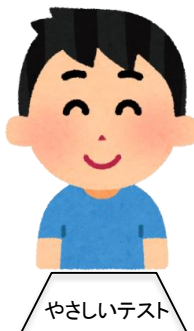
うん、またがんばるよ。

コロンビア大学ミュラー教授らは、ある公立学校の生徒を対象に大規模な実験を行いました。その実験によると...

Aのように能力をほめると



テストが何のためにあるかって？それは、よい点を取るためさ。



ほくは才能があるから簡単！

Bのように努力をほめると

もし、テストの結果が悪かったなら、それは自分の努力が足りなかったから。



難しいテストでも全力でがんばるぞ！

結局、ミューラー教授（コロンビア大学）は実験の結果から次のような結論を導き出しました。

子どものもともとの能力（＝頭のよさ）をほめると
子どもたちは意欲を失い、成績が低下する。

（「学力の経済学」P49から）

同様の実験をスタンフォード大学のキャロル・S・ドゥエック教授も行いました。その結果は…。

頭の良さをほめると、学習意欲が損なわれ、ひいては
成績も低下した。

（「マインドセット」P255から）

頭の良さ・能力・才能をほめる言葉には別のメッセージが潜んでいる。

① そんなにはやく覚えられたなんて、
あなたは、ほんとうに頭がいいのね！
② マーサ、あの絵をごらん。あの子は
将来のピカソじゃないだろうか。
③ あなたはすごいわ。勉強しなくても
Aが取れたんだから。
（「マインドセット」P254から）

① はやく覚えられなければ、頭がよくな
いんだ。
② なにかむずかしいものを描こうとしない
と、ピカソとは思ってもらえないんだ。
③ 勉強しない方がいい。さもないと、す
ごいと思ってもらえない。
（「マインドセット」P254-255から）

子どもをほめるときには、頭の良さ・能力・才能ではなく
努力と成長をほめましょう！

（例）

- ① 今日、ずいぶん長い時間、一生懸命に宿題をやったな。集中して終わらせることができてえらいぞ。
- ② この絵、きれいな色をととてもたくさん使って描いたのね。色の使い方のことを話してくれるかな？
- ③ この作文には自分の考えがたくさん書いてあるね。シェークスピアが別の角度から見えてくるようだね。
- ④ 心を入れて弾いてくれて、ほんとうに嬉しいわ。ピアノを弾いているときってどんな気分？ *①～④「マインドセット」P257より
- ⑤ 今日、1時間も勉強できたんだね。
- ⑥ 今月は遅刻や欠席が一度もなかったね。

*⑤⑥「学力の経済学」P51より

| ❌ 「成長志向」「やりぬく力」を妨げる表現 | ⊙ 「成長志向」「やりぬく力」を伸ばす表現 |
|--|--|
| 「才能があるね！すばらしい」 | 「よくがんばったね！すばらしい」 |
| 「まあ、挑戦しただけえらいよ！」 | 「今回はうまくいかなかったね。一緒に今回の方法を見直して、どうやったらうまくか考えてみよう」 |
| 「よくできたね！君はすごい才能を持っている」 | 「よくできたね！もう少しうまくできたかもしれないと思うところはあるかな？」 |
| 「これは難しいね。できなくても気にしなくていいよ」 | 「これは難しいね。すぐにできなくても気にしなくていいよ」 |
| 「これは君に向いてないのかもしれない。でもいいじゃないか。君にはほかにできることがあるよ。」 | 「もうちょっとがんばってみようか。一緒にがんばれば必ずできるから」 |

さて、「家庭教育インフォメーション②」いかがでしたでしょうか？私も教員として、これまであまり意識したことがなかったので勉強になりました。ぜひ、ご家庭で子どもに声をかけるときの参考にしてください。

参考文献
『「学力」の経済学』（中室牧子）
『まんがでわかる「学力」の経済学』（中室牧子）
『GRIT やり抜く力』（アンジェラ・ダックワース）
『マインドセット』（キャロル・S・ドゥエック）